

## 自然災害に対する地圏・水圏の防災・減災技術の提案PBL

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2019年09月12日 ～2019年09月20日	タイ	カセサート大学	・土木工学科 ・学部3年生、学部2年生、学部4年生、学部1年生	(芝浦工業大学) 学生37名、TA7名、教員1名、職員1名 (カセサート大学) 学生17名、教員3名、職員6名	稲積 真哉(土木工学科)



図1

タイ・カセサート大学において、日本とタイに共通する自然災害(豪雨災害等)から地圏・水圏を守る防災・減災技術の提案をテーマとしたグローバルPBLを実施した。当該グローバルPBLでは本学から土木工学科の学生が参加し、カセサート大学工学部土木工学科の学部生ならびに大学院生と協力し、集中豪雨に起因する地すべりの調査方法、安定計算、評価手法および対策技術の提案を行ったとともに、最後には各グループでその成果を議論・発表・共有した。また、タイにおける地盤防災、とりわけ地盤改良に関する建設現場や斜面が崩壊した現場の現地視察を行い、タイ・バンコクにおける自然災害(豪雨災害等)の脅威を理解したとともに、自然災害から地圏・水圏を守る防災・減災技術の現状も理解した。当該グローバルPBLの実施を通じて本学土木工学科の学生は、自らが専攻する土木工学が世界の自然災害からの強靱化に如何に貢献する学問であるか、また、他国において土木工学を専攻する学生が何を考え、何を目標としているかを英語を通じて理解する良い経験となった。



図2



図3



図4



図5



図6



図7